



5月から3ヶ月続けて自然観察会の朝は曇りのはっきりしない天候になりました。この日も天気予報では下り坂ながらも午前中は曇りとのことでしたが、途中で雨が降り始め、久しぶりに早めに切り上げました。

作業棟の東側に保護されたオオウラジロノキの鉢が置いてありました。5月の観察会の時に中道沿いでしおれているのに気づき、その後樹木医による診断でカミキリムシの食害が原因と分かり救済中とのことでした。水路のミソハギではたくさんの昆虫を観察しました。セリの花にはマメコガネが多数集まっていた。



オオウラジロノキの保護



ミソハギ



セリの花とマメコガネ

ウメの木の根元にニイニゼミの抜け殻が複数ついていました。ショウブの葉にとまって交尾していたのはムシヒキアブの仲間でした。この日はショウリョウバッタをたくさん見かけましたが、すべて幼虫でした。



ニイニゼミの抜け殻



ムシヒキアブの仲間



ショウリョウバッタの幼虫

虫網に入ったアカボシゴマダラは、黄色い口吻を伸ばしてしきりに何かを吸おうとしているように見えました。その食草であるエノキが近くにあり、丸々と太った幼虫も見つかりました。中道沿いのコナラの幹にマメキシタバがあると教えてもらいましたが、翅の色が樹皮にそっくりでなかなか見つけれませんでした。



アカボシゴマダラ



アカボシゴマダラの幼虫



マメキシタバ

シタバガの仲間であるコシロシタバを飛ばして下の翅の色を確認したところ、白い色が見られたという参加者がたくさんいました。コシロシタバの観察をしたコナラの幹にはヨツボシホソバの幼虫が見つかりました。地衣類を食べる幼虫です。また大きめのゾウムシが見つかり、コゲチャツツゾウムシとのことでした。



コシロシタバの観察



ヨツボシホソバの幼虫



コゲチャツツゾウムシ



ムベの葉の上でしきりに何かを探る様子の、黒い翅に艶のある**ヒメバチの仲間**がいました。足元の草むらには**ハキダメギク**が小さな花を咲かせていました。周辺にはスミレの仲間が見られ、それを食草とする**ツマグロヒョウモン**の幼虫が複数見つかりました。中には別の植物の上でじっとしているものもいました。



ヒメバチの仲間



ハキダメギク



ツマグロヒョウモンの幼虫

その近くで見つけたカミキリムシは**ヨツスジトラカミキリ**でした。アキニレの生垣では**スズメウリ**の花を観察することができました。付け根に子房があることから雌花と分かりました。そのアキニレの葉には食害の痕が多数見られ、少し探すと茶色い甲虫がいくつか見つかりました。**ニレハムシ**というそうです。



ヨツスジトラカミキリ



スズメウリの花



ニレハムシ

湿地にさしかかると**ナンキンハゼ**の木にたくさんの黄色い穂状の花が咲き頭を垂れているのが見えました。同じ穂に雌花と雄花がついていました。その周辺では**シロバナサクラタデ**が咲き始めていました。今年初めて現れたイネ科の外来種**アメリカスズメノヒエ**が紹介されました。穂がV字状になっていました。



ナンキンハゼ



シロバナサクラタデ



アメリカスズメノヒエ

田んぼでは同じくV字の穂をつけた**キシウズズメノヒエ**を観察しました。同じイネ科の**ジュズダマ**の花も観察しました。子どもたちが生きものを捕らえた水網を見せてもらおうと**マツモムシ**が入っていました。水を入れたケースに放すと、仰向けになって後ろの長い脚をオールのように動かして泳いでいました。



キシウズズメノヒエ



ジュズダマ



マツモムシ

観察項目(観察順): オオウラジロノキの保護, ネズミノオ, ミソハギ, セリの花, チビゾウムシの仲間, マメコガネ, オオシオカラトンボ, ニイニイゼミの抜け殻, 雨のしずく, クマゼミの抜け殻, ムシヒキアブの仲間, チュウレンジハバチの幼虫, オオオナモミ, クコ, オオスズメバチ, ショウリョウバッタ, ハンノキ, アカボシゴマダラの成虫と幼虫, アオバハゴロモ, マメキシタバ, コゲチャツツゾウムシ, コシロシタバ, ヨツボシホソバの幼虫, ニジュウヤホシテントウ, カマキリの幼虫, ナガジュウジカメムシの仲間の幼虫, ヨツスジトラカミキリ, ハキダメギク, メリケンカヤツリ, キリギリスの幼虫, ツマグロヒョウモンの幼虫, トガリヒメバチの仲間, ムベ, スズメウリの花, ニレハムシ, アキニレ, アメリカスズメノヒエ, ナンキンハゼ, ガの仲間の幼虫, シロバナサクラタデ, ジュズダマ, マツカサススキ, カブトムシの死骸, ヒメギス, キシュウズズメノヒエ, マツモムシ, アブラゼミの抜け殻, マツモムシ, ヒメクグ, ウグイスの声, ツバメ, モンシロチョウ, ヒメウラナミジャノメ, ツバメシジミ